

シャローム

ノートルダム教育修道女会

正義と平和、被造界の統合を目指す国際ネットワーク

名称：シャローム

ヘブライ語のシャロームは正義のための使徒職の実りの意味をよく表わしています。シャロームの聖書的意味は、全てのものを本来神が意図されたように回復させるダイナミックな活動を表わしています。シャロームはそれ自身が神、自身、そして全被造物との調和の取れた関係にあることを示しています。シャロームは、慈しみとまことは巡り合い、正義と平和は口づけするという詩編85の望みを表わしています。（聖書思想辞典“平和”参照）

“主は彼に言われた。「安心せよ、恐れるな。あなたが死ぬことはない。」ギデオンはそこに主のための祭壇を築き、「平和の主」と名付けた。”（士師記 6:23-24）

定義

シャロームは、正義と平和、そして被造界の統合のために活動するノートルダム教育修道女会の国際ネットワークです。これはノートルダム教育修道女会、全会員間のダイナミックな関係の上に築かれています。シャロームは、個人、共同体、国内、国際レベルで「正義と平和、そして被造界の統合」を擁護する価値観、姿勢を表明しつつ活動します。預言的な立場をとりながら、シャロームは正義のために声をあげる人々と共に、又、正義のために声をあげることができず、苦しんでいる人々のために声をあげます。シャロームの活動は行為を伴います。

根拠

シャロームは、「実行の決意」をうけて創設されました。「会として私たちは、正義と平和、そして被造界のための国際ネットワークを作ります。」（第19回総会、1992年）シャロームの意義と機能にとって不可欠なものは、イエス・キリスト、教会、世界、そして私たちのカリスマです。（会憲「はじめ」参照）被造界本来の姿を求めて信じて賭けつつ、私たちは

すべての被造物のために平和への潜在力、正義の実りを宣言します。キリストと兄弟姉妹への愛に促され、私たちは命の豊かさを促進する正義にかなった社会づくりに、またそれを阻む不正義な社会を変えることに向けて積極的に取り組みます。

シャロームのゴール

シャロームのゴールは、全てのものとの和解、抑圧された人々との連帯、人間の尊厳の促進、地球保全を目指したエコロジー運動との共働に結びつく行動をとることです。ラウダートシの精神において、私たちは、皆の家である地球を守り、保ち、統合的エコロジーを発展させるのです。別のことばで言えば、私たちは命の文化を促進します。またヨハネ・パウロ II 世が死の文化と名付けた、暴力、真実の改ざん、家庭崩壊、女性の非人間化、児童遺棄に反対する活動をします。（ヨハネ・パウロ II 世、世界への復活祭メッセージ、1994 年 4 月 3 日、オッセルバトーレ、ロマノ参照）私たちはことばと行いのすべてにおいて教育者です。シャロームのゴールは「人が変われば社会も変わり得る」という確信をもって行動することにより達成されると信じます。（会憲 22、23 参照）

“私は生と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選び、あなたも、あなたの子孫も命を得るようにし、あなたの神、主を愛し、御声を聞き、主につき従いなさい。”（申命記30:19-20）

“主がお前に求めておられることは、正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩むこと、これである。”（ミカ6:8）

“わたしが来たのは、あなたがたが命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。”（ヨハネ 10:10）

シャロームの目標

シャロームとして私たちノートルダム教育修道女会は、正義の宣言、不正義の告発、公正な社会構造の強化、正義に反する社会構造の改革を通して、自らの意識と関わる人々の意識を高めます。

シャロームとして、私たちは死の文化に代わる命の文化をつくりだします。

シャロームとして、私たちは絶えざる真理探求の精神をすべての活動に浸透させ、平和建設に貢献する人々と共働します。

シャロームとして、私たちはよい影響を及ぼすように、マスメディアを積極的に利用します。

シャロームとして、私たちは人々が抑圧されている現実を改善し、自由になるように物事を押し進め、統合します。

シャロームとして、私たちは不正義な状況にすみやかに対処する必要がある場合行動します。

シャロームとして、私たちは正義のための働き、また貧しくされた人々への献身故に生命の危険にさらされている人々を、共にいることで積極的に支えます。

シャロームとして、私たちは地球規模で考え、身近なところから行動すると同時に、地球規模でも行動します。

シャロームとして、私たちは地球に敬意を払い、全被造物との関わりを深めるよう努めます。

シャロームのメンバー

シャロームのメンバーは、初期養成にある人々や、アソシエイト会員を含むノートルダム教育修道女会の全員、及び、正義と平和活動のため修道会によって雇用された人々、正義と平和及び被造界の統合推進に協力したいと望む同僚、友人など全てが含まれます。

活動方式

シャロームを構成する要素とその機能は、正義と平和そして被造界の統合をはっきりと表わさねばなりません。こうしてシャロームは、”信仰共同体として神に応え、効果的に使徒的活動を行うために、私たちは聖霊の導きに対して、私たちを自由にする・・・機構をつくる“（会憲40）のです。

1. シャロームは総評議会によって任命された四年任期の国際コーディネーター 1 名をもつ。コーディネーターは総評議会に対し、報告責務を負う。
2. 国際ネットワークとしてシャロームは、地理的位置関係、課題の共通性、コミュニケーションの比較的な容易さなどに基づく支部によって構成される
現在のところ全会で以下の 5 支部がある。
アフリカ支部：ガーナ、ケニア、ナイジェリア、シエラレオネ、南スーダン、ガンビア

アジア・オセアニア支部：日本、ネパール、グアム

ヨーロッパ支部：オーストリア、ベラルーシ、チェコ共和国、英国、ドイツ、ハンガリー、イタリア、ポーランド、ルーマニア、セルビア、スロヴェニア、スウェーデン

ラテンアメリカ支部：アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ペルー、グアテマラ、ホンデュラス、プエルトリコ

北アメリカ支部：カナダ、アメリカ合衆国

3. コンタクトパーソンはネットワークにおける重要な役割をもつ。通常各ユニット又は各国に一名以上のコンタクトパーソンを置く。選出方法及び人数は、ユニットのリーダーによって定められる。コンタクトパーソンは各ユニットのリーダー及びシャロームの支部代表と国際コーディネーターに対して報告責務をもちかつ共働する。
4. 各支部はその支部のコンタクトパーソンによって選出され、その支部のSSNDリーダーによって承認されたシャローム支部代表1名をもつ。各支部はシャロームのゴール及び目標達成のため独自の機構をもつ。
5. 各支部に於いて、シャローム支部代表は、コンタクトパーソン、ユニットのリーダー、国際コーディネーターとシャロームの活動において協力する。シャローム支部代表は、国際コーディネーター、また、彼女を通して総評議会、及び担当のリーダーに対し報告責務を負う。
6. シャロームの国際コーディネーターと国連NGOオフィス責任者は、正義、平和、被造界の統合のための共通の使命と活動を強化するため、共働して計画にたずさわる。
7. 国際コーディネーター、総評議会のシャロームコンタクト、各支部の代表者及び国連NGOの責任者は、対話、計画立案、評価のため、2年毎に会議をもつ。会議の開催地は、シャロームの地球的視野を更に広げ文化的感受性を高めるため、毎回支部から支部へ場所を移して行う。

8. 国際コーディネーターは、総評議会に定期的に情報と経過報告を提出すると同時に、国際コミュニケーション・オフィスを通して全会員に進行状況を伝える責任も負う。

9. 総会指針に従い、各支部は、シャロームの応答を求める緊急ニーズに焦点をあてる。これらの行動の識別は、祈り、省察、対話のプロセスをもって行う。この循環的なプロセスには、取り上げる事柄についての情報収集、データの分析、及び信仰、聖書、教会の社会教説、会憲、総会指針に照らした省察が含まれる。

シャロームの活動は共働によって行う。国際コーディネーターは各支部代表や各ユニットのリーダー及び総評議会とそのリソース・スタッフ、特にSSND国連NGO代表、及びシャロームの精神やゴール、目標を共有する国内外のグループとも共働する。

10. 国際コーディネーターにかかわる経費は総評議会が負担する。各支部のシャローム活動の経費負担については、ユニットのリーダーと協議の上、国際コーディネーター及び総評議会が決定する。

11. シャローム・ネットワークの評価は総評議会によって発議される。評価にはシャロームのゴール、目標と同時に総会指針に照らしての毎年の見直しが含まれる。また活動に照らしてのシャローム文書の**定期的見直しも含まれる。**